

## パソコンで見る二大彗星

山本 直孝 < naotaka@ni.aist.go.jp >

ここでは、インターネットを使って二大彗星の最新情報を見るためのポインターを示したいと思う。また、このハンドブック自体もインターネットで見ることができる。

### (1) 日本語の情報サイト

- ・ アストロアーツ・天文ニュース

<http://www.astroarts.co.jp/news/index-j.shtml>

- ・ 国立天文台・天文ニュース

アーカイブ [http://www.nao.ac.jp/nao\\_news/](http://www.nao.ac.jp/nao_news/)

登録 [http://www.nao.ac.jp/J/nao\\_news/HELP.html](http://www.nao.ac.jp/J/nao_news/HELP.html)

### (2) 英語で最新情報を掴もう

彗星のその美しい姿を眺めるだけでも、十分に満足感が得られるだろう。しかし、ここではもう少し科学的にみてどのような成果が得られ、それらの情報にいち早くアクセスするためのポインターを紹介する。英語の敷居が高いと感じられる方々も、翻訳ツールなどを使って（面白い日本語になってしまうこともしばしばだが）読んでみてはどうだろう。

- ・ IAUC (International Astronomical Union Circular)

<http://cfa-www.harvard.edu/iauc/RecentIAUCs.html>

国際天文学連合が発行する最新の観測報告。基本的に、加入者のみが閲覧できるニュースだが、何日か経過したものについてはこのページから見る事が出来る。中身を見る事が出来ない最新のニュースもねタイトルだけは表示されるので C/2001Q4 か C/2002T7 がタイトルに含まれていたら公開されるのを待ってみよう。

- ・ ICQ (International Comet Quarterly)

<http://cfa-www.harvard.edu/icq/icq.html>

彗星観測の総本山ともいべきサイト。本書で紹介している彗星観測の報告先でもある。

- ・ MPC (Minor Planet Center)

<http://cfa-www.harvard.edu/iau/mpc.html>

おもに、彗星や小惑星の位置計算について取りまとめているセンターである。話題になっている天体については特集を組むことがあるので、今回も特集されることと思う。

<翻訳サイト>

*Excite* <http://www.excite.co.jp/world/url/>

自分の見たいホームページのアドレスを入力すると、英語から日本語に自動的に翻訳してページを表示してくれる。

*OCN 翻訳サービス* <http://www.ocn.ne.jp/translation/> などが利用可能。

### (3) 探してみよう

インターネットには情報が溢れているというような話をよく耳にする。確かに、膨大な情報が提供されていて、自分の必要な情報を得るのはなかなか大変である。そこで、検索サイトを利用して、今回の二大彗星の情報を得るための手がかりを書いておきたいと思う。

#### *Google*

<http://www.google.co.jp/>

日本語に限って情報を得たい時は「日本語のページを検索」を選択する。

ウェブ全体から検索としてしまうと、色々な言語のページを込にして検索されてしまう。

執筆時点（2003年8月22日現在）でも C/2001Q4 で検索すると、非常にたくさんのページが検索された。

検索の裏技：

例えば今回の場合、仮符合 C/2001Q4 を使えばほぼ間違い無くこの彗星の話題である。しかし、「NEAT」で検索してしまうと、全く無関係の情報も入ってきてしまう。

その時は

NEAT comet

と二つ以上の単語を入力することで絞り込むことが出来る。逆に、

NEAT - (キーワード)

のようにキーワードの前に "-"（マイナス）をつけることで、その単語を含むページを検索対象から外すことが出来る。

また、「ディレクトリ」には「科学」カテゴリの中に、「天文」ディレクトリがあるので、目的にあったホームページを、すばやく見つけれらるだろう。

その他の検索サイト

- ・ *Yahoo! JAPAN* <http://yahoo.co.jp/>
- ・ *Lycos* <http://www.lycos.co.jp/>
- ・ *goo* <http://www.goo.ne.jp/>